



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

富士、富士宮、三島、焼津市が共闘

生ごみ減量へ処理器普及



生ごみ減量に向け、「だっくす食ん太くん」の普及を進める4市の担当者＝富士市役所

食ん太くんは、土母（数日～1週間程度で水
材）の中の好気性微生物と二酸化炭素に分解す
物の働きで生ごみを、る仕組み。使用後の母
手を結んだ。

市町の枠を超えた生ごみ減量への取り組みが県内で始まった。県東部を中心とした4市
が「ふじのくに段ボールコンポスト研究会」を発足させた。段ボール製の生ごみ処理器「だ
っくす食ん太くん」を自主開発した富士市と、導入を決めた富士宮、三島、焼津の各市が

段ボール製堆肥に再利用

材と残りかすは堆肥に
なる。みかん箱大でか
さはらず、電気も不要。
防虫の専用カバーも備
えていて、市民から好
評だ。

だっくす食ん太くん 富士市
が昨年5月に発売し、
ことし3月末までに約
1100個を売り上げ
た。市の試算では、4
人家族で年間約100
キの生ごみ減量効果が
あるという。1年間ほ
ど使用可能。価格は9
80円。同市が動画授
稿サイト「ユーチュー
ブ」で使い方の紹介映
像を流している。

本年度は4市で計3
050個を販売する。
性能向上のための利用
者アンケートやモニタ
ー調査、生ごみ投入後
の成分分析、食ん太く
んの配布数と可燃ごみ
減少量の関連を検証す

一般的可燃ごみの
4～5割を占める生ご
みの減量は自治体共通
の課題。解決に向け、
手軽で安価な食ん太く
んを活用しようと各市
の担当者が18日、富士
市役所で初会合を開い
た。

ることなども決めた。
研究会の会長を務め
る稲葉慎一・富士市廃
棄物対策課長は「他市
町にも広げよう」と呼
び掛けた。

2013年6月20日朝刊 県総版

- ① 富士市が開発した生ごみ処理器の名前は何か。

- ② 「だっくす食ん太くん」は生ごみを何に変えますか。記事から二つ書きましょう。

- ③ 一般的に、生ごみは可燃ごみの何割を占めますか。

- ④ ごみ減量のためにできることは何か。考えて実行しましょう。

年 組 名前

(4年 社会、小学校高学年 総合)